

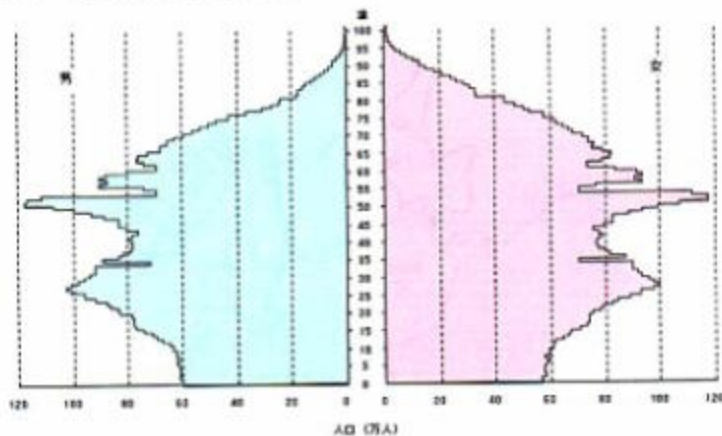
将来人口予測と財政の現状

外環の「生活への影響」を検討するにあたり、将来人口や財政の現状を考慮する必要があります。改めて整理してみましたのでご紹介します。

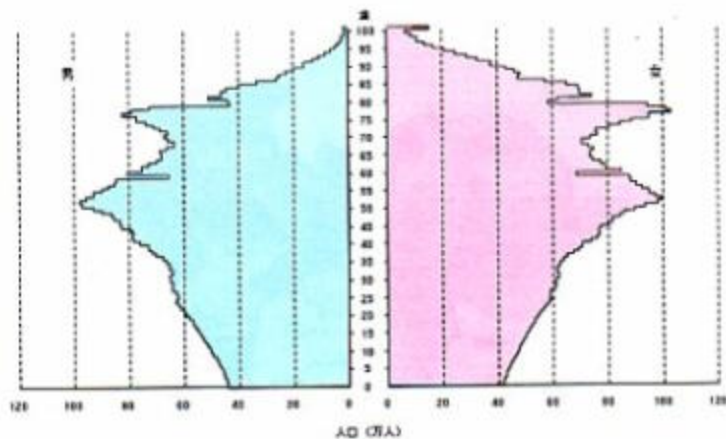
1. 将来人口予測

(1) 全国:人口ピラミッドの変化(中位推計)

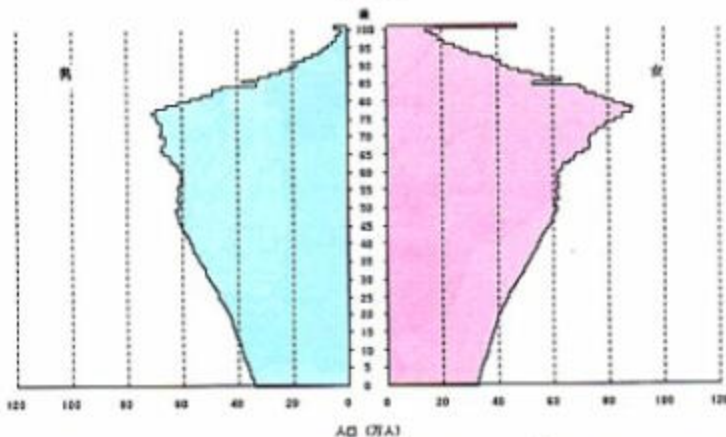
2000年



2025年



2050年



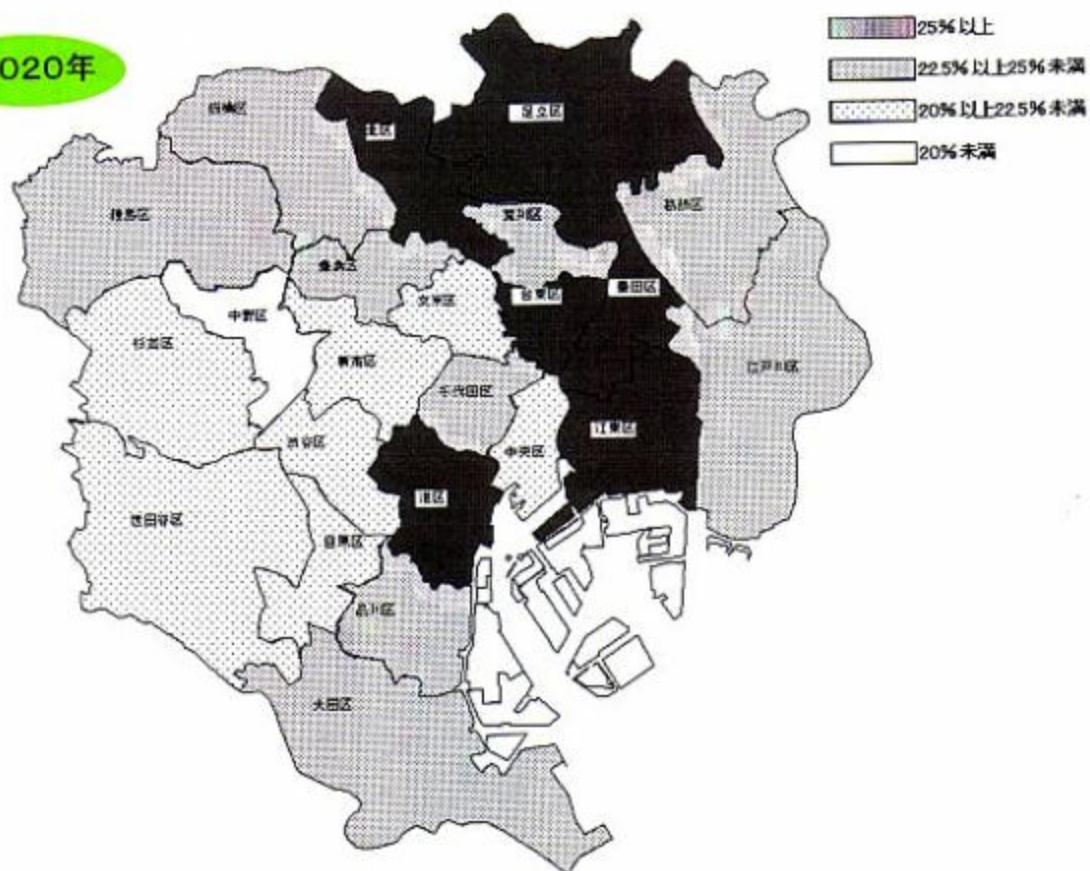
資料: 国立社会保障・人口問題研究所『日本の将来推計人口』2002.1より

(2) 東京都:65歳以上人口の割合(区部)

2000年

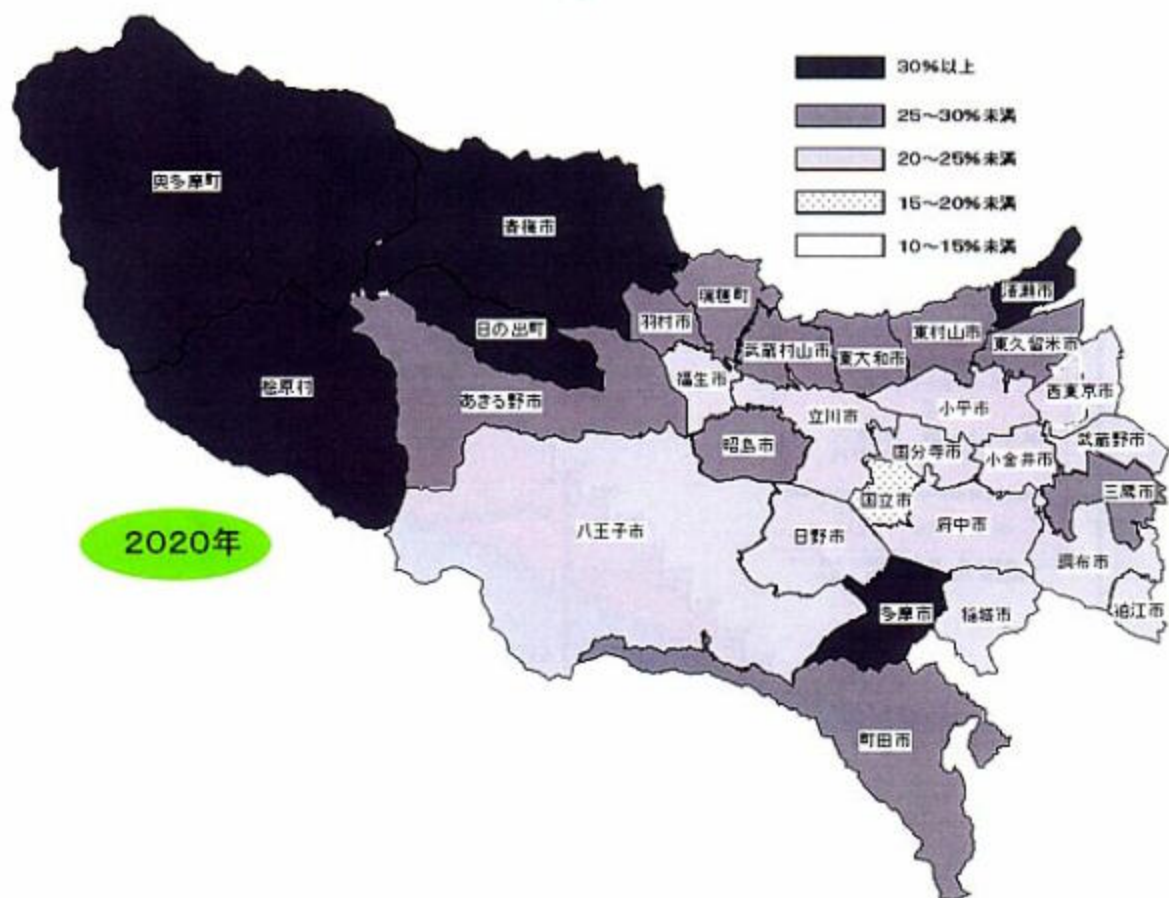
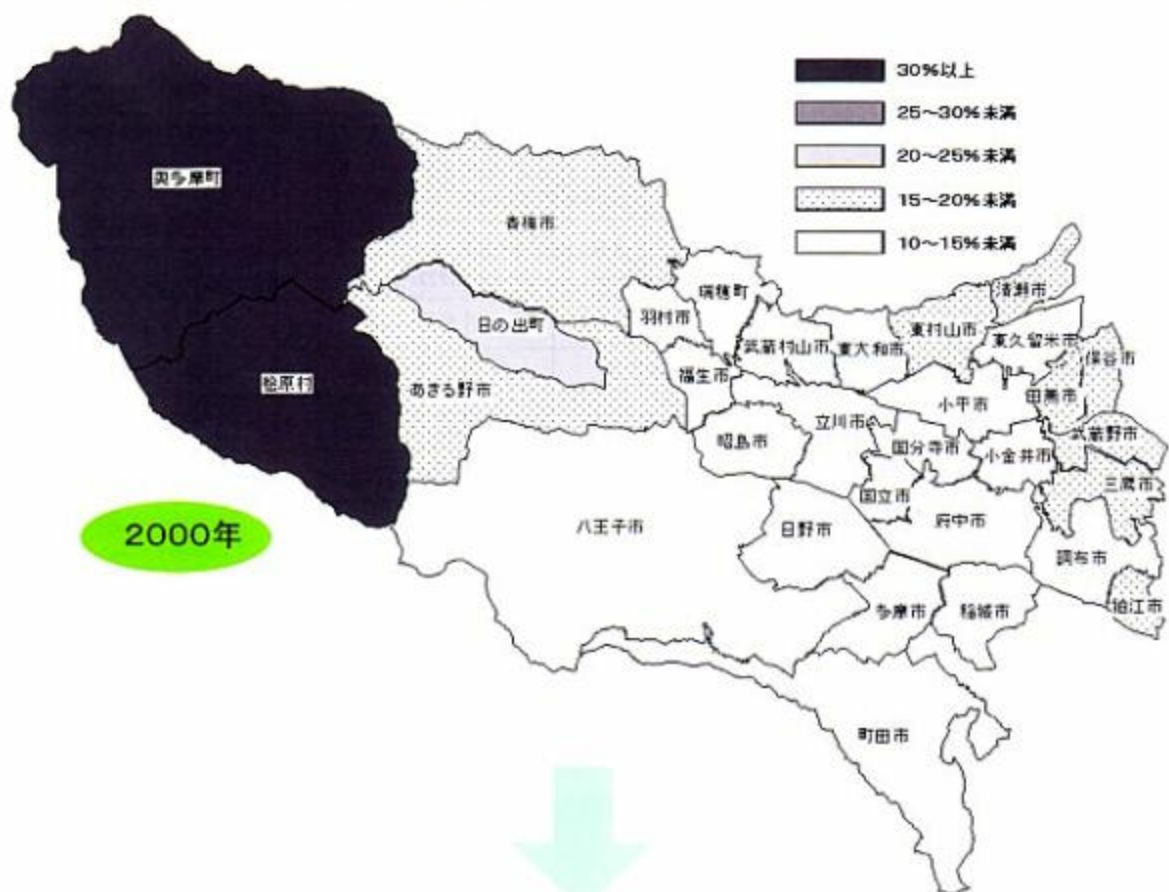


2020年



資料:東京都『東京都男女年齢(5歳階級)別人口の予測』2003.3より

(3) 東京都:65歳以上人口の割合(多摩)



資料:東京都『東京都男女年齢(5歳階級)別人口の予測』2003.3より

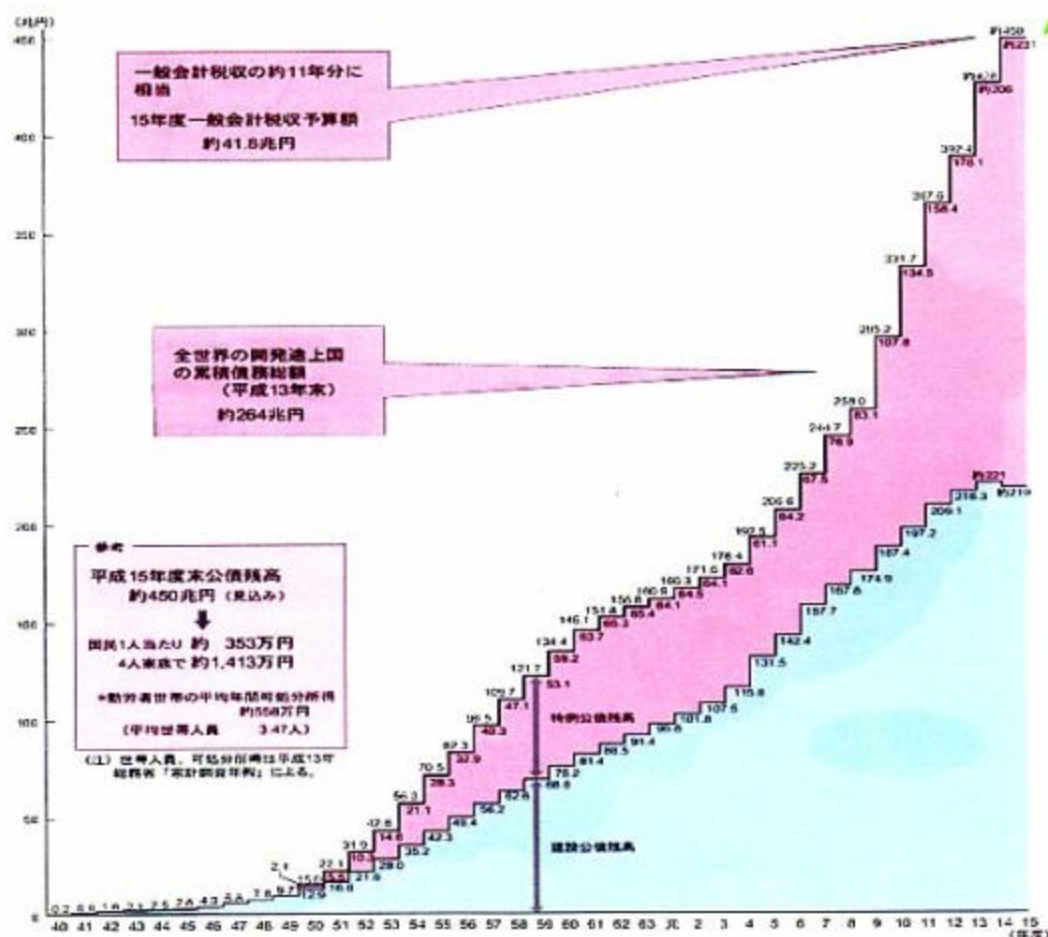
2. 財政の現状

(1) 国及び地方の長期債務残高

(単位:兆円)

	1993年度末 (実績)	1998年度末 (実績)	2003年度末 (予算)
国	246程度	408程度	518程度
普通国債残高	193程度	295程度	450程度
地方	91程度	163程度	199程度
国と地方の重複	▲4程度	▲18程度	▲32程度
国・地方合計	333程度	553程度	686程度
対GDP比	68.3%	107.7%	137.6%

(2) 公債残高の推移



資料:(1)(2)ともに財務省『財政の現状と今後のあり方』2003.3より

以上/2003.7.8 江崎美枝子